

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

VOICE

一般家庭ごみの収集が有料になることについて、市から説明を受けました。普段何気なく出していたごみ袋。大きいときもあれば小さいときもありますが、正直、あまり関心がありませんでした。新聞・雑誌などは当然分別していますが、そのほかの紙類は燃やせるごみの中に捨てていました。ちょっと気を付けてみようと、紙類を入れる袋を用意してみると、分別できる紙類がかなりあります。一人ひとりが気を付けると随分減るものかなと改めて思いました。これからは、面倒がらずに分別していきます。(ペンネーム 足元さん・54歳)



吉備路クリーンセンターに集められた古紙

ごみ収集の有料化を機会に、

ごみの分別に関心をもった人は多いと思います。皆さんのちょっとした積み重ねが、地球を救います。広報そうじや2月号の特集記事に、ワンポイントアドバイスを掲載しています。参考にしてください。資源循環型の社会を目指してみんなで頑張りましょう。

毎 日排出される多量のごみ処理については、特に規則どおりに出されていないことも多く、ご苦労の耐えないことと思えます。この度ごみ収集が有料化されることになり、不燃性粗大ごみについても、処理券をはることでその処理が一歩前進したと思えます。けれども、さらにもう少し前に進めないかと思えます。改正された内容では、処理券をはって集積所に出すか、自分で吉備路クリーンセンターへ搬入するかのいずれかです。しかし現在の方法では、高齢者や病弱な人などは、重い物を処理するのがなかなか難しいと思われまます。そこで、回収日を決めて、あらかじめ依頼のあった家庭を回収に回ってはどうでしょうか。もちろん相応の

料金を支払う必要はありません。市での回収が無理なら、業者を指定するなどして、比較的低料金でできないでしょうか。(板谷英雄さん・63歳)

板谷さんのいわれるように、高齢者や病弱な人が、重い粗大ごみを集積所に出すのは大変だと思えます。市にこのような相談があった場合、今は市の許可業者を紹介しています。また、テレビや冷蔵庫などの特定家電製品は、家電小売店で引き取ってもらおうか、毎月回収日を決めて市が有料で回収しています。今後は、粗大ごみも戸別収集するように検討したいと思えます。貴重なご意見をありがとうございます。

環境課ごみ対策係(☎08338) ※特定家電製品リサイクル推進のため、法律で定められたテレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、エアコンの5品目

総 社市に籍を置き33年になりました。昔に比べ、随分便利が良くなりました。病院や

子供たちが犯罪にまき込まれる痛ましい事件が後を絶ちません。とても胸が痛みます。総社のまちが、難波さんが子供のころを過ごしたような温かいまちであれば、犯罪は起こらないですね。広報そうじやも「子供たちを地域で守ろう」という思いから、3月号で特集を掲載しました。

後3時から絵本の読み聞かせやアニメの上映などを行っています。日時や内容は、広報そうじやの「図書館から」のコーナーへ掲載しています。ぜひご参加ください。今後とも図書館のご利用をよろしく願います。 問い合わせ 市図書館(☎4422)

真 備町の図書館では、毎2回、読み聞かせをしていただいています。参加すると好きなシールがもらえ、台紙にどんなためていく楽しみが娘にはありました。しかし真備町が合併して倉敷市となり、真備図書館が利用できなくなつても残念です。総社市図書館でも、毎日読み聞かせをしていただけないでしょうか。(M.Nさん・33歳)

合併で、倉敷市立真備図書館で本を借りることはできなくなりましたが、今までどおり本の閲覧や読み聞かせには参加できます。総社市図書館でも、毎週土曜日(第5週を除く)の、午

2 月の好天気。4人の友人と鬼ノ城に登りました。周囲の景色はすばらしく、南の方角には児島湾が遠くにかすみ、東の方角には高層ビルがかすかかなたに見えました。そして眼下には家並みが遠く近くに見え、私たちは何もかも忘れてその風景をじっと眺めていました。冷たい風に吹かれながら、しばらく遊歩道を歩いていると、人に踏まれた後のあるような小さな野草が、大地にしっかりと根を下ろして、ささやかに芽吹いていました。その野草が「鬼ノ城に来てくれてありがとう。建物や草木を大切にしてくださいね。そして、これからも鬼ノ城をみんなで守ってね」と訴えているようでした。多くの



深い霧の中、鬼ノ城整備委員会で西門などの整備状況の報告が行われました

鬼ノ城からの景色は何回見ても美しいですね。2月21日には、鬼ノ城整備委員会が開かれ、今までの整備状況などが報告されました。これからこの貴重な文化遺産を、大切にしていきたいですね。

おたよりお待ちしております ◎広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、総社市への思い、あなたの身近な出来事、絵ハガキなど好きなことをお書きください。

POST CARD 719-1192 総社市役所企画課 秘書広報係 行 (広報そうじや編集室) 〇ご氏名 フリガナ 年齢/ 歳 性別/ 男・女 ※年齢まで記載させていただきます。 〇ペンネームまたはイニシャル ※記入がない場合、実名で記載させていただきます。 〇ご住所 TEL() - FAX() - ※投稿いただいた記事は紙面の都合上一部編集させていただきます。ご了承ください。

編集後記

子供から高齢者まで、世代を超えて盛り上がったウインターフェスティバル。ステージでは高校のダンス部も熱演、盛り上がった。感極まって涙する姿も。青春だ! 秋葉山と権現岳に行って来た。総社市の美しい景色を眺めることができた。これから気候もよくなればたくさんのスポットに出かけてみたい。 世界10大文化人のひとりとしてルーマニアで切手にもなった雪舟さん。雪舟没後500年となる今年、広報そうじやでも連載記事を企画した。どうぞお楽しみに。



広報そうじや 昭和48年4月号

何か感じたことがありましたらお便りを寄せてください。 広報そうじや2月号、ボイスのコーナーの田中さんの手記を読み、全くそのとおりだと痛感しました。このようなことは絶対に、絶対にあつてはならないことです。 私たちが子供のころは、いたずらなどをすると、近所のお父さん、お母さんたちによくしかられていました。男の子などは、追い掛け回されていたと思えます。また、見慣れない子供を見ると声をかけていました。我が子もそうでない子も、みんな我が子という感じでした。寒い冬にはたき火をしてくれて「ぬくもっていけよ」と声をかけてくれ、手足を暖めては学校へ行っていました。今にして思うと、こうして地域全体で子供を見守ってくれていたんだと思えます。時代とはいえ本当に寂しく殺伐とした世の中、悲しく思えます。なぜこうなったのでしょうか。(難波善子さん・70歳)